

シリーズ

秘蔵写真

# 今は昔の林業

第23回

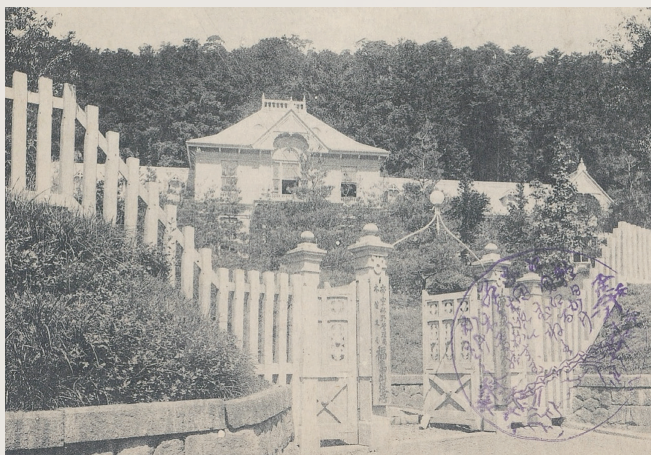
中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

## 「帝室林野局木曾支局庁舎」

中部森林管理局の前身として長野営林局がありました。更にその前身として帝室林野局木曾支局が明治三十年代から木曾福島に設置されていました。



初代の帝室林野局木曾支局庁舎  
(明治36年設置／絵はがきより)



現在も残る2代目の帝室林野局木曾支局庁舎  
(昭和2年落成／絵はがきより)

戦前の木曾谷一円の御料林(後の国有林)を管理する木曾支局の庁舎は明治三十六年に建てられましたが、昭和二年の木曾福島の大火で焼失してしまっただため、現在残っているのは二代目の庁舎となります。

二代目の庁舎は戦後、昭和三十一年に現在

の長野市の庁舎に機能が移転するまでは長野営林局の本庁舎として使われました。その後、林業試験場木曾分場や福島営林署、森林技術センターの庁舎としても使われます。

平成二十年代の地元関係者の尽力と復元改修工事を経て、現在は長野県木曾町が所有する「御料館」として活用され、アール・デコ様式の洋風建築の姿を伝えています。

「写真 昭和初期頃の局内部と思われる写真



「写真 昭和二十年後半頃の写真

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。

当サイトへは、コードを読み込んでください。

